

コアシサシの繁殖地を皆で創生しよう～  
子供たちと取り組む保護プロジェクト



	助成区分	植樹	環境 保全	調査・ 研究	教育・ 啓蒙	
実施状況	参加者数	40人	環境学習参加の 生徒数	70人	活動の全体目標に 対する達成度	85%

活動目的

自然の繁殖地が消滅した絶滅危惧種の野鳥「コアシサシ」の繁殖地を創生する。  
その活動には子供たちにも参加してもらい野鳥保護活動の一旦を担ってもらう。

活動内容

- デコイ用金型の作成  
コアシサシを繁殖地に誘致するにはその姿を模した模型「デコイ」を多数繁殖地に配置する。通常、木を削り時間をかけて作るデコイの作成に、成形用金型を用いて安く大量に作る。
- デコイ色塗りイベント  
デコイの色塗りには子供たちにも参加してもらい、保護活動の一旦を担ってもらう。
- デコイ設置  
企業から敷地の提供を受け、デコイを設置、コアシサシを誘致する。
- コアシサシ繁殖状況の確認
- デコイの撤去



成果

- ・デコイ成形用金型の完成、金型を用いてデコイを約800体作成した。
- ・デコイ色塗りイベントを実施、子供を含めて40名で300体のデコイを一日で塗った。
- ・出光興産愛知製油所の協力で敷地内にデコイ100体を設置、コアシサシの誘致を試みた。
- ・トヨタ自動車衣浦工場、ジェイテクト、豊田自動織機、大同特殊鋼でもデコイを設置し、ジェイテクトにはコアシサシが飛来、抱卵した。
- ・NPO法人リトルターンプロジェクト、NPO法人ふくおか湿地保全研究会でもデコイを使用した。
- ・鬼崎北小学校でコアシサシに関する環境学習を実施、約70名の小学生が参加した。



工夫した点

- ・デコイの材質には環境にやさしいリサイクル紙入りバイオプラスチックを使用。焼却処分可能であり、バイオマークを取得済。高い耐久性があり、アクリル絵具で塗装可能なので子供でも安心して色塗りが出来る。
- ・助成金の不足を補うためにコアシサシ募金を実施、野鳥画家の谷口高司氏からコアシサシのイラストの提供を受け、イラスト入り缶バッジを作成して募金への謝礼とした。
- ・谷口高司氏を招いて、講演会、野鳥イラスト講座等を開催、参加者にコアシサシ保護活動を紹介した。

今後の課題

- ・もっと大勢の子供たちに参加してもらえる仕組みを作る。
- ・来シーズンに向けて今年コアシサシの飛来がなかった出光興産敷地内の整備をする。
- ・国内外の保護団体への働きかけを行い、連携してコアシサシ保護活動が出来る環境を整える。